

第 54 回 日本細菌学会中部支部総会

(2017 年 10 月 13 日-14 日)

於：名古屋大学鶴舞キャンパス鶴友会館大会議室

プログラム (案)

IVプログラム

10月13日(金)

11:40-12:40 支部幹事会

12:55-13:00 開会挨拶

座長 立野一郎(名市大・医・細菌学)

13:00-13:12

I-01

ビブリオ菌のFlhGのN末端領域DQAxxLRモチーフのべん毛本数制御機構の解析

○水野彬、本間道夫、小嶋誠司

(名古屋大学・院理・生命理学)

13:12-13:24

I-02

ビブリオ菌のべん毛モーターの粘性抵抗性に必要なFliL蛋白質の構造解析

竹川 宜宏¹、伊角 実優¹、朱 世偉^{2,3}、西野 優紀²、佐久間 麻由子^{2,4}、小嶋 誠司²、

○本間 道夫²、今田 勝巳¹

(¹阪大・院理・高分子科学、²名大・院理・生命理学、

³エール大・医・微生物病理、⁴名大・RIセンター)

13:24-13:36

I-03

海洋性ビブリオ菌の極べん毛形成に関わるDnaJファミリータンパク質SflAのペリプラズム領域の構造と機能解析

○佐久間麻由子^{1,2}、稲葉敏²、西川翔士³、西垣岳彦²、小嶋誠司²、今田勝巳³、

本間道夫¹

(¹名大RIセンター、²名大院・理・生命、³阪大院・理・高分子科学)

座長 鈴木匡弘(藤田保衛大・医・微生物)

13:36-13:48

I-04

Bサブユニットの $\alpha 1$ ヘリックス構造変化に伴うべん毛固定子の活性化

○小嶋誠司¹、高尾真登²、Gaby Almira³、河原郁美³、佐久間麻由子¹、本間道夫¹、

児嶋長次郎^{3,4}、今田勝巳²(¹名大・院理・生命理学、²阪大・院理・高分子、³阪大・

蛋白研、⁴横浜国大・工)

13:48-14:00

I-05

海洋性ビブリオ菌回転子タンパク質 FliG の Middle-domain 変異が

回転方向制御に与える影響の解析

○錦野達郎¹, 土方敦司², 尾上靖宏¹, 小嶋誠司¹, 宮ノ入洋平³, 白井剛², 本間道夫¹ (¹名大・院理・生命理学、²長浜バイオ大・バイオサイエンス、³阪大・蛋白研)

14:00-14:12

I-06

細菌べん毛 III 型分泌装置によるタンパク質輸送の *in vitro* 再構成

寺島浩行^{1,2}, 川本晃大³, 巽千夏¹, 難波啓一^{3,4}, 南野徹³, 今田勝巳¹

(¹阪大院理高分子、²名大院理生命、³阪大院生命機能、⁴理研 QBIC)

座長 塚本健太郎 (藤田保衛大・医・微生物)

14:12-14:24

I-07

抗酸菌の長期生存とヒストン様核様体結合タンパク質によるグローバルな細胞機能制御

○西山晃史¹, Shymaa Enany^{1,2}, Anna Savitskaya¹, 吉田 豊³, 山本 格⁴, 阿戸 学⁵, 松本壮吉¹

(¹新潟大院・医歯学総合・細菌学、²スエズカナル大・薬・微生物・免疫学 (エジプト)、

³新潟大・研究推進機構、⁴新潟大・生体液バイオマーカーセンター、⁵国立感染症研・免疫部)

14:24-14:36

I-08

Hfq 結合性 sRNA の生合成におけるターミネーターヘアピンの役割

○ 森田 鉄兵、西野 良、饗場 弘二

(鈴鹿医療科学大学薬学部)

14:36-14:48

I-09

宿主腸管におけるボツリヌス神経毒素複合体の分子動態に関する研究

○油谷雅広¹, 戸所泰人², 鳥居恭司³, 松村拓大¹, 阿松翔¹, 藤永由佳子¹

(¹金沢大学・医学系・細菌学、²大阪大学・理学研究科・分析機器測定室、³東京農業大学・農学)

座長 小嶋誠司 (名大・院理・生命理学)

14:48-15:00

I-10

血管内皮細胞増殖に関与する *Bartonella henselae* 由来因子の同定

○塚本健太郎¹、鈴木匡弘¹、堀口安彦²、土井洋平¹、
(¹藤田保衛大・医・微生物、²阪大・微研・分子細菌)

15:06-15:18

I-11

Rho グアニンヌクレオチド交換因子 PLEKHG3 による
TRIF 依存的シグナル増強作用

○中尾莞奈¹、早水良¹、秋元奈央¹、長谷川拓也¹、高橋圭太¹、
井上直樹¹、長瀬隆弘²、上田浩³、杉山剛志¹
(¹岐阜薬大・薬・感染制御、²かずさ DNA 研、³岐阜大・工)

15:18-15:30

I-12

糞便移植を用いたデキストラン硫酸ナトリウム誘発マウス潰瘍性大腸炎
モデルにおける腸内細菌叢と病態の関係の解析

○恵西丈彦¹、西科冴香¹、安田祐里花¹、村岡夏実¹、加藤大樹¹、
前川洋一²、井上直樹¹、杉山剛志¹
(¹岐阜薬大・薬・感染制御学、²岐阜大・院医・寄生虫)

座長 杉山剛志 (岐阜薬大・薬・感染制御学)

15:30-15:42

I-13

ATP 拭き取り検査法を応用した口腔汚染状況の評価

○葛城啓彰¹、鈴木安里¹、大埜間勉¹、田中雄祐²
(¹日本歯科大学新潟生命歯学部・微生物学講座、²日本歯科大学新潟生命歯学部)

15:42-15:54

I-14

地方衛生研究所に対する外部精度管理調査の試行について (**Title for presentation**)

○松本昌門、皆川洋子
(愛知衛研)

15:54-16:06

I-15

Carbapenem Resistance due to Amino Acid Insertion in Penicillin-Binding Protein 3 of
 β -Lactamase-Negative Ampicillin-Resistant Haemophilus influenzae

○Kazuki Kitaoka¹, Kouji Kimura¹, Hirotsugu Banno¹, Wanchun Jin¹, Jun-ichi Wachino¹,
and Yoshichika Arakawa¹

(¹Nagoya Univ. Grad. Sch. of Medicine. Dept. of Bacteriol.)

座長 松本昌門 (愛知衛研・細菌)

16:06-16:18

I-16

大腸菌由来 CTX-M 型 β -ラクタマーゼ遺伝子保有 IncI1 プラスミドの系統ネットワーク解析

○鈴木匡弘¹、和知野純一²、法月千尋³、川村久美子³、長野紀之⁴、荒川宜親²
(¹藤田保衛大・医・微生物、²名大院・医・細菌、³名大院・医・医療技術、⁴信州大・保健・細菌)

16:18-16:30

I-17

A 群レンサ球菌における *mef(A)*, *mef(E)* マクロライド耐性システムの解析

○長谷川忠男¹、松本昌門²、松井秀之¹、井坂雅徳¹、立野一郎¹
(¹名市大・医・細菌学、²愛知衛研・細菌)

16:40-18:00

パネルディスカッション

「日本細菌学会の再活性化のための提言」

飯沼由嗣先生 (金沢医科大・臨床感染症学・感染症科)

本間道夫先生 (名古屋大・院理・生命理学)

村上啓雄先生 (岐阜大・医・附属病院・生体支援センター)

八木哲也先生 (名古屋大学・医・附属病院・中央感染制御部)

(五十音順)

司会 木村幸司 (名大・医・分子病原細菌学)

18:10-19:40

情報交換会

場所：鶴舞キャンパス内 鶴友会館内レストラン鶴友 (1F)

10月14日(土)

座長 長野則之(信大院・医・病因病態検査学)

9:00-9:12

II-01

ペットボトル飲料物の飲み口に付着する細菌の検出および同定

○平吹有香, 涌井杏奈, 佐野拓人, 曾田彩花, 竹中佑太, 河内美帆, 佐藤拓一
(新潟大・医・保健学科 [検査技術科学専攻・臨床化学])

9:12-9:24

II-02

Characterization of Group B Streptococci with Reduced Penicillin Susceptibility
Forming Small Less- β -Hemolytic Colonies on Sheep Blood Agar

○坂野弘嗣¹、木村幸司¹、田中洋輔²、関塚剛史³、黒田誠³、和知野純一¹、山田景子¹、柴山恵吾⁴、荒川宜親¹

(名大・医・分子病原細菌学¹、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院²、
感染研・病原体ゲノム解析研究センター³、感染研・細菌第二部

9:24-9:36

II-03

β -ラクタム系薬選択圧下におけるB群レンサ球菌ST17の耐性化誘導

○小出将太¹、小坂駿介¹、大崎裕介¹、谷口唯¹、林航¹、木村幸司²、長野由紀子²、
荒川宜親²、長野則之¹ (¹信大院・医・病因病態検査学, ²名大院・医・細菌学)

座長 打矢恵一(名城大学・薬・微生物学)

9:36-9:48

II-04

カルバペネム中等度耐性 *Bacteroides fragilis* GAI92214 株の全ゲノム構造解析

○後藤隆次¹、森田雄二²、林将大¹、田中香お里^{2,3}

(¹岐阜大・生命セ・嫌気性菌、²愛知学院大・薬・微生物、³岐阜大院・連合創薬・医療情報)

9:48-10:00

II-05

Mycobacterium avium 感染による病態と薬剤感受性

○旭 将来¹、打矢恵一¹、高見実希¹、近藤真帆¹、中川 拓²、小川賢二²、
二改俊章¹

(¹名城大学・薬・微生物学、²NHO 東名古屋病院・呼吸器内科)

10:00-10:12

II-06

緑膿菌の MexXY 系を標的としたベルベリン誘導体の合成と分子メカニズム

○小谷謙太¹、森田雄二¹、富田純子¹、西野邦彦²、河村好章¹

(¹愛知学院大学薬学部微生物学講座、²大阪大学産業科学研究所)

10:20-11:10

特別講演 吉田正先生（塩野義製薬株式会社 元取締役・特別顧問）

座長 荒川宜親（名大院・医・細菌）

「異次元を行く— β -ラクタム骨格に酸素原子を導入する創薬実現」

座長 森田雄二（愛知学院大学薬学部微生物学講座）

11:20-11:32

II-07

愛玩動物臨床由来セフトキシム耐性 *Enterobacteriaceae* における CTX-M-27 ESBL 産生 *E. coli* B2-O25b-ST131-H30R クローンの優位性

○谷口唯¹、林航¹、大崎裕介¹、前山佳彦¹、小出将太¹、小坂駿介¹、長野由紀子²、荒川宜親²、長野則之¹（¹信大院・医・病因病態検査学、²名大院・医・細菌学）

11:32-11:44

II-08

市販鶏肉由来 CTX 耐性大腸菌株における CTX-M-55 産生株の広がり

○大崎裕介¹、林航¹、谷口唯¹、小出将太¹、小坂駿介¹、長野由紀子²、荒川宜親²、長野則之¹（¹信大院・医・病因病態検査学、²名大院・医・細菌学）

11:44-11:56

II-09

健常人および鶏肉間における CTX-M-8 ESBL 遺伝子の水平伝播は IncI1/ST113 により媒介される

○法月千尋¹、和知野純一²、鈴木匡弘³、川村久美子¹、荒川宜親²

(¹名古屋大学大学院 医学系研究科 医療技術学専攻、²名古屋大学大学院 医学系研究科 分子病原細菌学、³藤田保健衛生大学 医学部 微生物学講座)

12:06-13:06

支部評議員会

13:15-13:30

会務総会

13:35-14:25

教育講演 川村久美子先生

座長 村上啓雄（岐阜大・医・附属病院・生体支援センター）

「ヒト、家畜、食品等より分離された ESBL 産生菌の分子疫学的特徴」

座長 和知野純一（名大院・医・細菌）

14:35-14:47

II-10

国内においてヒト，市販鶏肉，愛玩動物から分離されたコリスチン耐性腸内細菌科細菌の解析

○林航¹，谷口唯¹，大崎裕介¹，小出将太¹，小坂駿介¹，長野由紀子²，荒川宜親²，長野則之¹（¹信大院・医・病因病態検査学，²名大院・医・細菌学）

14:47-14:59

II-11

在宅医療患者および介護施設入所者等における薬剤耐性菌の保菌率およびその分子疫学解析

○林 謙吾¹、川村久美子¹、北岡一樹²、木村幸司²、和知野純一²、飯沼由嗣³、村上啓雄⁴、藤本修平⁵、荒川宜親²
（¹名大院・医・医療技術、²名大院・医・細菌、³金沢医大・臨床感染症学、⁴岐阜大・医・附属病院・生体支援センター、⁵東海大・医・生体防御学）

14:59-15:11

II-12

メタロ-β-ラクタマーゼ VIM-2 の精製と阻害剤探索

○仲崇天、和知野純一、木村幸司、荒川宜親
（名大院・医・細菌）

座長 姫田敏樹（金沢医大・医・微生物学）

15:11-15:23

II-13

SAFV の IRES 依存的非 AUG 翻訳により産生される未知蛋白

○姫田敏樹、大桑孝子、宇谷公一、樋口雅也

(金沢医大・医・微生物学)

15:23-15:35

II-14

サフォードウイルス VP1 蛋白の分解における他のウイルス蛋白の関与

○大桑孝子、姫田敏樹、宇谷公一、樋口雅也

(金沢医大・医・微生物学)

15:35-15:47

II-15

ヒトサイトメガロウイルスは神経膠腫細胞のケモカイン産生を誘導する

○武本眞清¹、山後淳也¹、林捺美¹、定成秀貴¹、松原京子²、大黒徹²、村山次哉²

(¹北陸大・薬・薬学基礎教育センター、²北陸大・薬・生体防御薬学分野)

15:47-15:52

閉会挨拶